

【開催速報！2026年夏、奈良国立博物館】

米国・ボストン美術館から、南都ゆかりの仏教絵画の名品が奈良に集結！

ボストン美術館共同企画

特別展「南都仏画—よみがえる奈良天平の美—」

2026年7月18日（土）～9月13日（日）／奈良国立博物館 東西新館

奈良国立博物館（所在地：奈良市/館長：井上 洋一）では、南都（奈良）ゆかりの仏画や仏像の名品を数多く所蔵する米国・ボストン美術館のコレクションを多数展示する特別展「南都仏画—よみがえる奈良天平の美—」を2026年7月18日（土）～9月13日（日）の会期で開催いたします。

概要は次ページの通りです。



しゃかりょうじゆせんせつぽうず (ほつけどうこんほんまん たら)
釈迦靈鷲山說法図（法華堂根本曼陀羅）奈良時代（8世紀）ボストン美術館
Shaka, the Historical Buddha, Preaching on Vulture Peak
8th century
Panel; ink, color, and gold on ramie
William Sturgis Bigelow Collection
Photograph © Museum of Fine Arts, Boston

《報道関係者お問い合わせ先》

「南都仏画—よみがえる奈良天平の美—」広報事務局（TMオフィス内）担当：馬場・永井・西坂
MOBILE：090-6065-0063（馬場） 090-5667-3041（永井）
TEL：050-1807-2919 FAX：050-1722-9032 EMAIL：nantobutsuga@tm-office.co.jp

展覧会概要

「南都」と呼ばれた奈良に、古代から連綿と受け継がれてきた珠玉の仏教絵画、それが「南都仏画」です。奈良時代には後世まで規範とされていく国際色豊かな天平絵画が大寺院を彩り、平安時代になると貴族好みの優美な仏画が盛んに礼拝されました。南都仏教の復興期にあたる鎌倉時代以降、天平の図像にもとづく復古的な仏画が描かれるようになるとともに、「南都絵所」と呼ばれる奈良の仏画工房に所属した絵仏師たちが、仏画や絵巻の制作、さらには仏像の彩色にも携わるようになります。

本展覧会は、「南都仏画」の歴史を選びすぐりの仏画・仏像の名品とともにたどる初の試みです。特に注目は、米国・ボストン美術館が所蔵する南都ゆかりの仏画が一挙里帰りすることです。約20年の構想を経て実現する国際共同企画として、ボストン美術館と奈良国立博物館所蔵の2大コレクションが集結します。さらには、南都のまぼろしの名刹・内山永久寺の堂内を彩った名画や仏像が一堂に会する貴重な機会となります。本展覧会でしか体験できない「南都仏画」の魅力を、ぜひ心ゆくまでご堪能下さい。

見どころ

1 南都仏画の粋が一堂に集結

古代から中世、そして現代に至る、奈良（南都）ゆかりの仏画・仏像の名品を厳選して展示。

2 ボストン美術館との国際共同企画

構想約20年、ボストン美術館と奈良国立博物館所蔵の南都仏画2大コレクションが集結する空前絶後の展覧会。

3 日本仏教文化の発信

奈良の1300年を超える歴史と、伝統を継ぐ絵師たちの系譜を紹介。

4 よみがえる南都の名刹・内山永久寺

現存しない内山永久寺（奈良県天理市）の仏像・仏画の優品が集まる。

内山永久寺

平安時代に創建され、現在の奈良県天理市杣之内町の地に壮麗な伽藍を誇った南都を代表する寺院。明治初年の神仏分離令を経て廃絶しましたが、かつての栄華を象徴する寺宝の数々は、現在も国内外の美術館・博物館に大切に保管されています。本展覧会ではボストン美術館「四天王像」など、南都の絵仏師が彩色を担った内山永久寺旧蔵の仏像・仏画の優品が一堂に会します。

おもな展示作品

こちら3点は、
いずれもボストン美術館所蔵作品



しやかりょうじゆせんせつぽうず (ほつけどうこんほんまん だら)
釈迦靈鷲山説法図 (法華堂根本曼陀羅)
奈良時代 (8世紀)
Shaka, the Historical Buddha, Preaching on Vulture Peak
8th century
Panel; ink, color, and gold on ramie
William Sturgis Bigelow Collection
Photograph © Museum of Fine Arts, Boston



かすが みや まんだら
春日宮曼荼羅 南北朝時代 (14世紀)
Mandala of Kasuga Shrine
14th century
Panel; ink, color, and gold on silk
William Sturgis Bigelow Collection
Photograph © Museum of Fine Arts, Boston



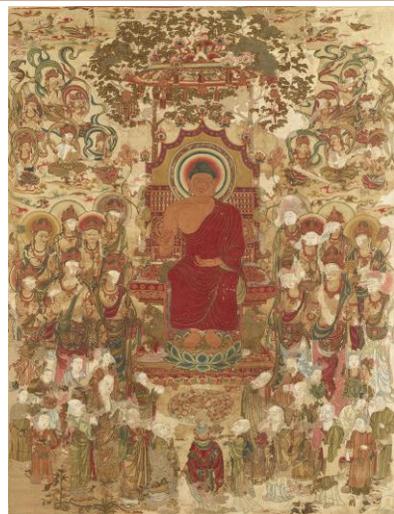
四天王像 (広目天像) 鎌倉時代
建長5年 (1253) 頃 重命筆
Four Guardian Kings (Kōmoku-ten, the Guardian of the West)
Chōmyō (Japanese, active 1233–1295)
13th century
One of a set of four panels; ink, color, and gold on silk
Fenollosa-Weld Collection
Photograph © Museum of Fine Arts, Boston



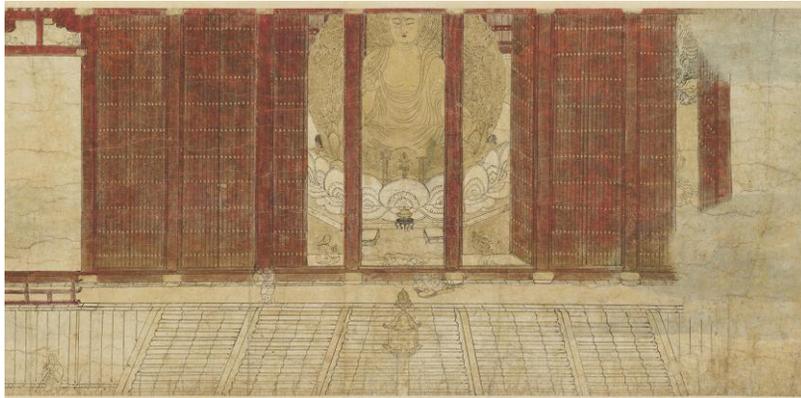
国宝 十一面観音像
平安時代 (12世紀) 奈良国立博物館



でんたちばなぶにん ねんじぶつずし
国宝 伝橘夫人念持仏厨子
飛鳥時代 (7~8世紀) 奈良・法隆寺



ししゅうしやかにらいつせつぽうず
国宝 刺繍釈迦如來說法図
中国・唐または飛鳥時代 (7~8世紀)
奈良国立博物館



し ぎさんえんさ えまき あまぎみのまき
国宝 信貴山縁起絵巻 (尼公巻) 平安時代 (12世紀) 奈良・朝護孫子寺

開催概要

展覧会名：ポストン美術館共同企画

特別展「南都仏画—よみがえる奈良天平の美—」

会 期：2026年7月18日（土）～9月13日（日）

会 場：奈良国立博物館 東西新館

所在地 〒630-8213 奈良県奈良市登大路町50番地

主 催：奈良国立博物館、NHK奈良放送局、NHKエンタープライズ近畿、朝日新聞社

特別協力：ポストン美術館

協 賛：ダイキン工業、竹中工務店、NISSHA

特別支援：DMG森精機

協 力：仏教美術協会

奈良国立博物館ウェブサイト：<https://www.narahaku.go.jp/>

※本展の詳細は、後日改めて発表いたします。



▼広報用画像について

以下の【1】～【6】を広報用画像として貸出いたします。

※入力が必要な場合は広報事務局までお問合せください。

申込フォーム：<https://forms.gle/CFsuuM4W6gFTEWma9>



【1】釈迦靈鷲山説法図（法華堂根本曼陀羅）
奈良時代（8世紀）ポストン美術館
Photograph © Museum of Fine Arts, Boston



【2】春日宮曼荼羅
南北朝時代（14世紀）
ポストン美術館
Photograph © Museum of Fine Arts, Boston



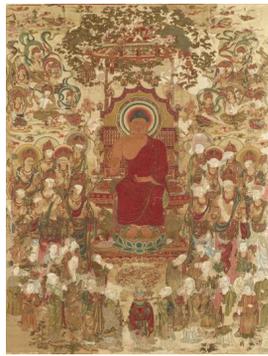
【3】四天王像（広目天像）
鎌倉時代 建長5年（1253）
頃 ポストン美術館
Photograph © Museum of Fine Arts, Boston



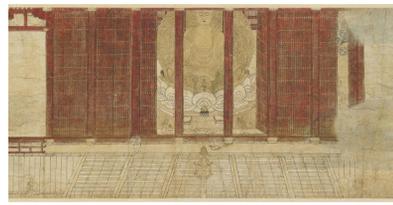
【4】国宝 十一面観音像
平安時代（12世紀）
奈良国立博物館



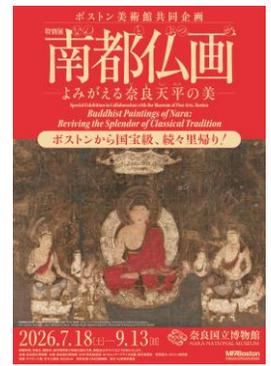
【5】国宝 伝橋夫人念持仏
厨子 飛鳥時代（7～8世紀）
奈良・法隆寺



【6】国宝 刺繍釈迦如來說法図
中国・唐または飛鳥時代
（7～8世紀）奈良国立博物館



【7】国宝 信貴山縁起絵巻（尼公巻）
平安時代（12世紀）
奈良・朝護孫子寺



【8】先行チラシデータ

《報道関係者お問い合わせ先》

「南都仏画—よみがえる奈良天平の美—」広報事務局（TMオフィス内）担当：馬場・永井・西坂

MOBILE：090-6065-0063（馬場） 090-5667-3041（永井）

TEL：050-1807-2919 FAX：050-1722-9032 EMAIL：nantobutsuga@tm-office.co.jp